



令和4年7月12日

「インフラわくわくツアー」第二弾！

～インフラを巡る地域密着型ツアーを催行する旅行会社を募集します～

北海道開発局では、公共施設(インフラ)を観光活用することにより地域活性化に貢献するとともに、インフラへの理解を深めていただくことを目的に、インフラツーリズムに取り組んでいます。

このうち、地域の関係者の協力を得て、「歴史」「産業」「文化」「食」をテーマに、インフラと施設を組み合わせ、地域の発展をストーリーとして実感できるように工夫した地域密着型ツアー「インフラわくわくツアー」を今年度も実施します。

今年度の第二弾として、帯広地域、釧路地域の企画について、ツアーを催行いただける旅行会社を下記のとおり募集します。

記

- 1 ツアーテーマ (帯広編) 「十勝川治水100年の足跡と十勝の恵みを満喫！」
(釧路編) 「釧路の産業史を辿る！」
北海道遺産『簡易軌道』と国際バルク戦略港湾 釧路港
- 2 募集期間 令和4年7月12日(火)～令和4年7月29日(金)
- 3 申込方法等 応募要領、申込様式、申込先等については、
北海道開発局ホームページをご参照ください。

URL: <https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/renkei/splaat000001lr55.html>

- 4 企画内容等 詳細は別紙をご参照ください。

※ 新型コロナウイルス感染症の影響によっては、募集を中止又は内容変更を行う場合があります。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話(代表) 011-709-2311
開発監理部 開発連携推進課 開発企画官 瀬能 博之(内線 5433)
開発監理部 開発連携推進課 上席開発計画専門官 阿部 匡史(内線 5837)



北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>

インフラわくわくツアー（帯広編）

十勝川治水100年の足跡と十勝の恵みを満喫！

◆かつて広大な湿地であり、長年にわたって水害に悩まされていた十勝川下流域は、昭和16年に完成した「統内新水路」（現在の十勝川）によって農耕地として利用できるようになり、十勝地方の食料自給率（2021年1339%）の向上に大きく貢献しました。

◆さらに、「十勝ダム」、「札内川ダム」、木野引堤や「千代田新水路」といった治水事業によって、地域の治水安全度が上がり、十勝平野で安定した農業が営まれ地域経済の発展に寄与してきました。

◆大正12年（1923年）から始まり、令和5年（2023年）に100周年を迎える十勝川の治水事業の足跡を巡りつつ、この治水事業によってもたらされた十勝地方の恵みを楽しんでいただきます。

予約枠 **9月下旬～10月上旬 平日に1回**（日程は調整の上決定）

ツアー定員 **20名**

※その他応募の諸条件は、催行応募要領をご覧ください。

👉 ここがポイント！

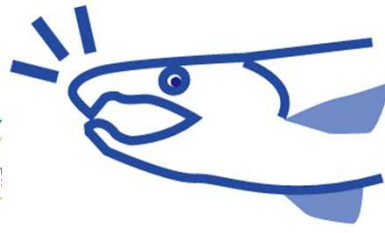
- ☆「千代田新水路」では、国内最大規模（高さ3.9m）の分流堰ゲートを、間近で見学。
- ☆統合ガイドとして、川の専門家のお話が聞ける！
- ☆いけだワイン城のレストランでは、十勝川の治水事業によってもたらされた十勝の恵みを満喫。

メニューリスト

ツアーを企画する際は、以下「メニューリスト」から自由に選択いただけますが、①～④のいずれか一つは必ず入れてください。その他グルメ、観光スポットなども任意で行程に組み入れていただけます。【 】は所要時間の目安です（分）。

- ① **統内新水路、十勝川下流防災施設（十勝川資料館）** 【20】
 - ・バス内から統内新水路見学後、十勝川下流防災施設（十勝川資料館）へ移動し解説。
- ② **千代田新水路** 【60】
 - ・魚道、分流堰ゲート見学及び解説
- ③ **札内川ダム** 【60】
 - ・ダム内部（監査廊）等の見学及び解説
- ④ **十勝ダム** 【60】
 - ・ダム内部（監査廊）等の見学及び解説
- ⑤ **いけだワイン城** 【60～90】
 - ・ワイン醸造室、ブランデー製造室、スパークリングワイン製造室の見学（無料）、レストランで食事（コース4,500円）、ワイン試飲（300円）など
- ⑥ **十勝ネイチャーセンター** 【120】
 - ・十勝川をゴムボートで川下り（約6km）・9:30～11:30 又は 13:30～15:30
 - ・料金一人5,500円 ・ボート一艇7名×3艇＝最大21名
 - 【※警戒水位を超える増水時や落雷などの悪天候時は中止となります。】
- ⑦ **道の駅おとふけ なつぞらのふる里（休憩・買い物等）**
 - ・22年4月に移転オープン
 - ・連続テレビ小説「なつぞら」に関連したエリアあり。
 - ・柳月スイートピアガーデンが隣接している。

○見学可能な施設



十勝川 100TH ANNIVERSARY
治水100年
FLOOD CONTROL OF THE TOKACHI RIVER



④十勝ダム



②千代田新水路



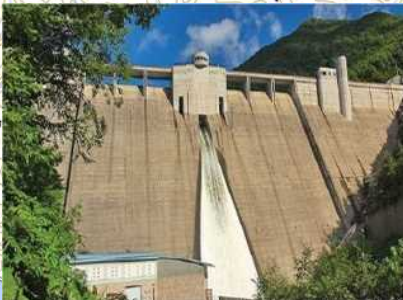
①十勝川下流防災施設
(十勝川資料館)



⑦道の駅 おとふけ
なつぞらのふる里



⑤いけだワイン城



③札内川ダム



⑥十勝ネイチャーセンター



①統内新水路

インフラわくわくツアー（釧路編）

釧路の産業史を辿る！

北海道遺産「簡易軌道」と国際バルク戦略港湾 釧路港

◆「簡易軌道」は、道東や道北を中心に「北の大地の開拓を支えた小さな鉄路」として、大正後期から昭和40年代にかけて人々や農畜産物を運び、道東・道北でも本格化し始めた酪農を支えました。現在も、関連施設が鶴居村をはじめ釧路・根室地域に残されており、2018年に「北海道遺産」にも選定されています。

◆「釧路港」は、1899（明治32年）に開港し、世界に開かれた港として、北海道の産業とともに発展してきました。地域の主要産業である酪農の飼料となる穀物の安定的供給と安価な輸送を実現するため、大型船舶による大量一括輸送を可能とする港湾施設が整備され（2011年「国際バルク戦略港湾」選定）、日本有数の食糧供給基地であるひがし北海道の物流拠点として、重要な役割を果たしています。

◆本ツアーでは、ひがし北海道の主要産業である酪農などを支えてきた「簡易軌道」や「釧路港」を巡りながら、開拓期から現在に至るまでの釧路地域の歴史を学び、産業の変遷とインフラ整備の成果を体感していただけます。

予約枠 10月～12月 平日に2回（10/21～11/25を除く）（日程は調整の上決定）

ツアー定員 10名

※その他応募の諸条件は、催行応募要領をご覧ください。

👉 ここがポイント！

☆北海道遺産「簡易軌道」を釧路市立博物館石川学芸員がじっくり解説します。

☆北海道では「釧路だけ」！国際バルク戦略港湾釧路港国際物流ターミナルを業務艇「たんちょう」で乗船見学。釧路開発建設部職員がご案内します。陸上からも一般に知られていない港の役割を丁寧に解説します！

☆鶴居村版ガストロノミーツーリズム～小さな村のジビエに触れる旅～噂の鹿肉をランチで選べます。

☆通常では通行できない河川管理用通路を特別に開放し、釧路湿原を見ながら移動します。

メニューリスト

ツアーを企画する際は、以下「メニューリスト」は必須ですが、その他グルメ、観光スポットなど任意で行程に組み入れていただけます。【 】は所要時間の目安です（分）。

① 釧路市立博物館 【45】

・釧路の暮らしや産業の歴史を解説。

② 鶴居村ふるさと情報館 みなくる 【30】

・北海道遺産「簡易軌道」の展示見学・解説

③ 釧路港国際物流ターミナル 【90】

・釧路港の港湾整備状況と港湾活動を船上と陸上から見学（荒天の場合は、陸上のみ見学となります）

④ 地元の食材を用いた昼食 【60】 ※昼食場所については、開発局担当者調整すること。

・地元産の食材を使った料理の提供（案：鹿肉）

※ ①～③の見学施設はすべて解説付きです。 ※釧路市発着の日帰りツアーをお勧めします。

○見学可能な施設



②鶴居村ふるさと情報館
みなくる(簡易軌道車両)

オプション:鶴居村営軌道 廃線跡
(新富士駅・鳥取神社・鶴野地区等)



④地元の食材を使った昼食
(鶴居村内)
【写真はイメージです】



③釧路港国際物流ターミナル



①釧路市立博物館